



2学期終了まで、あと一ヶ月！ 「いつやるか？」「…でしょ！！」

そろそろ今年の流行語大賞のノミネートや今年一年を象徴する漢字一文字の募集が始まる季節です。2学期末、そして年末が近づいています。今年は何んな言葉が選ばれるでしょうね？ 当然、「爆ぜる」(ハゼル)でしょうか？ いやいや「神ってる」でしょうか？ ところで突然ですが、みなさんは、「いつやるか？」と聞かれたら、咄嗟に何とお答えになりますか？やはり「今でしょ！！」が口に出てしまいますか？それとも、すっかりお忘れになりましたか？ ご承知の通り、この言葉は数年前に流行語となり、色々な場面で使われていますが、何となくおもしろおかしく使われることが多いようでもあります。しかしながらこの言葉、単なる流行語として流してしまうにはあまりにももったいない、素晴らしい言葉だと思うのです。わたしはこの言葉を初めて耳にしたとき、まさに「今」の重みを知っている日本有数のトップ講師だけのことはあるなと感心しました。なぜなら、短く単純なフレーズの中に、人間の弱さを鋭くついた真理が隠されていると感じたからなのです(大袈裟ですか?) 林先生は、受験生を鼓舞するために自然に使い始めたのかもしれませんが、この言葉は「今」を軽視している人からは絶対に出てこない言葉ではないかと思うのです。「今」行動を起こすことがいかに大切なことであるかを知り尽くしているからこそ、自然に出た言葉だと思うのです。何かをやり遂げるために行動するならば、それは「今」しかありえないのだという強い意志を感じます。「どうして？明日からだってできるじゃない！」と考えてしまう人は、おそらく永遠に理想には追いつけないのではありませんか。なぜなら、「明日の自分」ぐらい信用できない人物はいないからです。



<昨日の自分> <今日の自分> <明日の自分>。この中で、自由に行動し方向性を決めることができるのは、「今日の自分」だけです。昨日の自分は過ぎ去ってしまったことなので今さら操れませんし、明日の自分はまだ訪れていないのでコントロールできません。つまり、何かをやろうとしたときに、確実に行動できるのは「今の自分」だけなのです。しかし、「今日の自分」は、えてして「明日の自分」に期待し、行動を託してしまいがちです。わたくしもですが・・・。

「明日から頑張ろう」「そのうち始めよう・・・」。でもちょっと待ってください。「明日の自分」は「昨日の自分」から見れば「今日の自分」なわけですね。果たして「今日の自分」は「昨日の自分」の期待に応えられたのでしょうか？託された行動をしっかりと「今日の自分」はこなせているのでしょうか？もし期待に応えられていない、もしくはまた「明日の自分」に丸投げしたというのであれば、それは言うなれば「期待の逃げ水」でしかありません。暑い夏の日に焼けたアスファルトの道で遠くに見える水たまりのようなモヤ。近づくとなぜか逃げていく不思議な自然現象によく似ています。

明日の自分、未来の自分に期待して目標や理想の遂行や責任を押しつけていても、実は「明日の自分」は昨日から見た「今日の自分」なのです。つまり、「今日の自分」がやらなければ、それは結局のところスライドするだけで「明日の自分」もやらないのです。目標をしっかりとクリアできる人は、「明日の自分」に期待し過ぎないのだと思います。いや、むしろ「明日の自分」ぐらい信用できない人物はいないと疑っているに違いありません。常に最高なのは、「明日の自分」ではなく、「今日の自分」です。そう思っている人こそが、期待以上の「明日の自分」になれるのだと思います。(わかってるんです。)

今年度のゴールが、まだ少し遠くですが肉眼で見え始めてきた2学期末。「自分」を「学校」に置き換えて考えてみる必要もありそうです。4月からの教育実践を通して、本校の様々な成果と課題がわかってきました。であれば、やるべきことをはっきりさせ、全職員で課題解決に向けた具体的な行動を本気で起こさなければなりません。「明日の自分」「明日の学校」に夢を託すのではなく、「今日の自分」が、「今日の学校」が、行動を起こします！ 起こしたいです。起こせるかな・・・？ いやいや、改めて。「いつやるか？」 **今でしょ！！** なのです。

校内研究授業の取組より

全校研究授業(2年1組岸梅学級) <10/31>

算数科「かけ算(1)新しい計算を考えよう」という単元の学習でした。所謂、2年生算数科学習のメインとも言える「かけ算九九」の前哨戦にあたる学びです。子どもたちは、「かけ算の意味」をイメージするため、ブロックやアレイ



図、あるいは計算などの「アイテム」を決め、課題解決の見通しをしっかりともちながら意欲的に学んでいました。授業後の話し合いの中では、低学年段階での算数科という教科の特性をいかした「学び合い」のゴールをどこに求めて行くのか?など、活発な研究協議がなされました。岸梅先生の丁寧な指導の積み重ねや安心して学ぶ雰囲気の子どもの姿が印象的な授業でした。

6年生「地域の先達から学ぶ」

11月9日、地域にお住まいになる「渡邊貞次郎さん」(85歳)をお招きし、戦時中の子どもの生活や実際にご自身が体験された戦時下の様子などについて学ぶ機会を得ました。氏は、自分が6年生だったころ(昭和18年)には、勉強をせず毎日工場で働いていたことや空襲により燃え上がった炎で、夜でも屋間のように明るかった光景などを切々と語っておられました。お話を拝聴する6年生もみな真剣な眼差しで話に聞き入っておりました。氏は最後に、このようにお話しされ、授業をおえられました。



未来を担う皆さんには、
平和な日本を引き継いで
行ってほしい。

心に響く一言ですね。しっかり心に留めておきます。

12月(師走)行事予定

- 1日(木) 交通安全指導日
参観日(中学年)4の1給食試食会
- 2日(金) 参観日(低学年)1年生給食試食会
市KTSB誓いの日 
図書貸し出し終了
- 5日(月) 図書返却期間(～12/9)
- 6日(火) 朝ミッケ!3年生
給食費納入日(高学年)
- 7日(水) ミッケ!工作 さんさんパーク
いじめ非行防止サミット
給食費納入日(中学年)
- 8日(木) 給食費納入日(低学年)
- 9日(金) 給食費納入日(予備日)
市KTSB誓いの日 
- 12日(月) 第2回学校評議員会
冬休み図書貸し出し(～12/16)
- 14日(水) ミッケ!2学期SP
- 15日(木) 交通安全指導日
児童会
- 16日(金) 続・「広陽チャレスタ第I期」
市KTSB誓いの日
- 17日(土) さんさんパーク
- 19日(月) 清掃週間(～21日)
- 21日(水) 交流給食
- 22日(木) 第2学期終業式 
大掃除
- 23日(金) 天皇誕生日(冬季休業 ～1/17)
- 26日(月) みんなの学習会 (～28日まで)

第2回全校あいさつ運動開始!!

前期の学校評価等の結果、児童の「あいさつ」が、しっかりできていないと反省しました。そこで取り組んだのが、以前もお伝えしましたが、委員会活動にプラスして各学級が日替わりで玄関に立ち、朝の爽やかなあいさつを交わす全校挨拶運動。今年度2回目の取組を14日から始めました。学校中に明るい笑顔が広がり、全校児童がきっと、あたたかい気持ちで一日のスタートを切ることができていると思います。



<児童の声～1回目の反省から～>

- ・気持ちが良かった。
- ・朝から元気になれた
- ・挨拶を返されると嬉しかった。
- ・自分からすすんで言うことがなかったから良かった。 などなど。

※あいさつは、「しなければならぬこと」ではなく、「すると素敵なこと」という想いに変わってきているようです。